

# 令和 7年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 産業創造課  
 担当名: CE・ものづくりイノベーション推進  
 内線: 3735 (単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P31	技術イノベーション創出支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費		
事業期間	令和6年度～ 令和8年度	根拠 法令	なし			針路 分野施策	11 1101	稼げる力の向上 新たな産業の育成と企業誘致の推進	SDGsゴール 9 SDGsターゲット 9-5	
1 事業概要	県内産業界に製造業を核としたイノベーションを創出させる環境を作るため、企業のフェーズに応じた支援を行う。  ア 技術開発フェーズの中小製造業支援 △11,443千円 イ 社会実装フェーズの中小製造業支援 △1,338千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 技術開発フェーズの中小製造業支援 121,933千円 将来の成長が見込まれる技術や製品の開発を対象に補助金を交付する。 イ 社会実装フェーズの中小製造業支援 9,096千円 本格的に事業化(量産化)し成長を目指す企業に対して必要な支援を実施する。 (2) 事業計画 ア 技術開発フェーズの中小製造業支援(補助事業名:次世代ものづくり技術活用製品開発費補助金) (ア) 分野 高度なデジタル、バイオ、マテリアル、カーボンニュートラル ※サーキュラーエコノミー、サービスロボットに関する技術開発は審査で加算 (イ) 補助額 上限10,000千円 × 12件程度 (ロ) 補助率 2/3(小規模企業者3/4) (エ) 対象 県内中小企業 イ 社会実装フェーズの中小製造業支援 (ア) 実証試験に必要な経費、実証試験後に行う改良等に要する経費、製品(試作品含む)のPRのための 出展に要する経費等の補助 (イ) 公社Coによる実証フィールドのマッチング、改良についてのアドバイス、加工先とのマッチング、 展示会の選定～展示内容のブラッシュアップなどを実施 (3) 事業効果 新たな技術開発に取り組む県内企業が増え、企業の付加価値向上が図られている。 【活動指標(アウトプット)】製品開発支援12件、実証支援5件 【成果指標(アウトカム)】事業化(量産化)によって生み出された付加価値額 192,000千円 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 民間資金を県内に呼び込むため、県内金融機関を始めとする資金提供側と連携する。 (5) 補正予算の概要 ・事務費の節減による減 ・審査員が謝金を辞退したことによる減 ・補助金交付額が見込みを下回ることによる減						
2 事業主体及び負担区分	ア (県2/3)事業者1/3、(県3/4)事業者1/4 イ (県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2.0人=19,000千円									
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	△12,781	繰入金	△12,781						0	131,029
現計額	143,810		143,810						0	

## 事業内訳書

事業名	技術イノベーション創出支援事業		
単位事業名	技術開発フェーズの中小製造業支援	予算額	△ 11,443千円

### ○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 産業振興・雇用機会創出基金繰入金	△11,443	—	
合計	△11,443	—	

### ○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△550	—	審査員が謝金を辞退したことによる減
旅費	△250	—	事務費の節減等による減
需用費	△5	—	事務費の節減等による減
役務費	△18	—	事務費の節減等による減
負担金、補助及び交付金	△10,620	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減
合計	△11,443	—	

単位事業名	社会実装フェーズの中小製造業支援	予算額	△ 1,338千円
-------	------------------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
繰入金・ 産業振興・雇用機会創出基金繰入金	△1,338	—	
合計	△1,338	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△33	—	事務費の節減等による減
負担金、補助及び交付金	△1,305	—	補助金交付額が見込みを下回ることによる減
合計	△1,338	—	